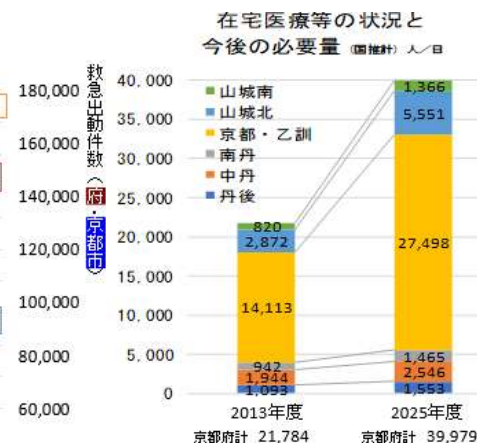


救急要請に係る検討会 ～高齢化社会における在宅医療にも対応した救急体制の構築～（概要）

現状

- ・高齢化，高い軽症率，急なケガや病気の際の不安を要因として，府市とも救急件数は10年間で24～25%増加。
- ・超高齢社会の進展に伴い，府市ともに今後も救急件数の増加は続く見込み。
- ・在宅療養患者からの救急要請は増加しており，今後も在宅医療のニーズは高まる予測。



課題

独居高齢者等のサポート体制の整備

- ・「かかりつけ医」と「後方支援病院」の連携強化
- ・在宅療養患者に対する迅速・適切な救急受診の支援

救急需要への対応

- ・医療機関の負担軽減
- ・不急の救急出動対策

課題解決の方策として，地域の実情等に応じた救急要請前における緊急度判断の手段やあり方を検討し，住民へ普及する必要がある。



主な論点

- ・救急要請前の緊急度判断ができる手段
- ・緊急度判断手段のメリット，デメリット
(各年齢層に応じた適切な手段のあり方)
- ・新たな支援ツールの検討(#7119など)
- ・周知・広報のあり方

スケジュール

- 第1回 30年9月10日(月)
- 第2回 30年10月下旬～11月上旬
- 第3回 30年12月下旬～1月上旬
- 第4回 31年3月中旬～下旬